

33 折り合いをつける

学級活動の話し合いの中で、子どもたちは様々な意見を出してきます。議題(テーマ)は、もちろんその時その時によって変わります。学級目標であったり、学級レク活動の内容であったり、あるいは今、学級内で困っていることなど様々です。

学級全体での話し合いですから一度に全員が同じ考えというわけにはいきません。そこで子どもたちは出した意見や同じ考えの意見に説得力をもたせるために「わけ」をつけていきます。対立する意見や、少し角度の違う意見などにももちろんこの「わけ」がついてきます。司会グループの子どもたちはこうして出てきた意見の似ているところを探して同じグループにまとめたり、それぞれの意見に対して質問を求めたり、もっと詳しく説明を促したりしながら会を進めます。そして様々な意見が出終わったところに「集団決定」に向かいます。時にそれぞれの意見のいいところをまとめて一つの結論を導いたり、どうしてもうまくいかない場合には多数決という手段を用いたりします。

この「集団決定」に際して大切なのが、「折り合い」をつけることです。どの子も、より良くしようという考えから自分の意見を述べます。ですからどの意見も本来でしたらすべて採用したいところです。対立する意見同士の中にも共通点を見つけ出したり、意見の中にある「おもしろい」をしっかりと子どもたち全員で共有したりしながら「折り合い」をつけていくのです。自分とは違った意見の中にも良さや価値を見つけ、それを認める力を伸ばし、重ねていくことが大切なことなのです。